

参加自由
入場無料

第18回 供米田中学校区 地域防災大会

もう一度学び直そう、「防災・減災、キホンのキ」
～めざせ！一周遅れのトップランナー～

「地域の 地域による 地域のための自主防災大会」がコロナ禍による中断を経て、今年ようやく供米田中学校に戻ってきました！

これを機に今回の大会ではもう一度「防災・減災の基本」にかえて、参加者全員で共に学び、体験して「一周遅れの防災トップランナー」の地域をめざしましょう！

メインゲストにはお馴染みのNHK気象キャスターの寺尾直樹さんを招き、供米田中学生による各種発表も含めて災害ボランティア団体や行政・警察、消防、企業、そして消防団はじめ地域の皆様のご協力により楽しく実施します。皆さん奮ってご参加ください！

と き 令和6年 **10月19日(土)**

8:30～12:30 (8:00受付開始)
雨天決行(警報発令時は中止となります)

ところ **供米田中学校**

体育館、運動場
(会場に参加者の駐車場はありません)

プログラム (内容は現時点での予定で、変更があり得ることを予めご了承ください)

8:00 **流れ集合・受付開始** どの時間からでも参加できます

8:30 **展示・交流ブース体験①** 自由に各ブースを巡って防災のワザを学んでください

①行政・企業ブース

庄内川河川事務所、中川区役所・支所、中川土木事務所、中川警察署、中川消防署、複数の企業ブースなど

②地域共助ブース

中学生・高校生運営ブース、「避難所でお抹茶接待」、炊き出し体験など

③自助力増強ブース

防災グッズの展示ブース、銀行・損害保険相談ブース、AED・応急処置体験など

9:30 **オープニングメッセージ** 福和伸夫先生(名古屋大学名誉教授・大会アドバイザー)ほかりモート参加

開会式(歓迎の音楽、主催者挨拶、大会次第の説明など)

9:50 **防災・減災プレゼン大会**(中学生・ボランティア、企業・行政 各約5分)

10:30 **防災レクチャー 気象予報士 寺尾直樹さん(NHK名古屋気象キャスター)**

11:15 戸田・豊治両学区の区政協力委員長による防災ミニ訓話・地区防災宣言

11:20 **展示・交流ブース体験②** 前半に交流できなかったブースを体験してください

11:45～ 消防団放水訓練ほか運動場でのデモンストレーション

12:00～ 炊き出し試食体験(自助・共助力増強の一環として当日に調理体験も募集予定)

12:30～ **主催者閉会挨拶～流れ解散**

総合司会

フリーアナウンサー

深谷 里奈さん

防災レクチャー

気象予報士

寺尾 直樹さん
(NHK 名古屋気象キャスター)

主 催 戸田学区連絡協議会 豊治学区連絡協議会

後 援 中日新聞社

協 力 供米田中学校

協 働 出展・活動団体各位

企画・運営 株式会社山田組(052-301-6121)

戸田学区・豊治学区「防災・減災 キホンのキ」

戸田・豊治 両区政協力委員長からのメッセージ

「地震・雷・火事・親父」……怖い物の順番と教えられた。南海トラフ大地震は何時？規模は？地震は突然襲って来る大変怖いもの。近年発生するゲリラ豪雨、線状降水帯による浸水被害など……これらの災害から命を守るワザを家族で今回の大会に参加して学び、防災意識を高めていざという時には一人一人が自身で命を守る行動をしてください。学区も出来ることをサポートします。

戸田学区・安藤岩雄

「災害はいつ起こるかわからない」という言葉を今年ほど実感した年はありません。

それは正月に発生した「能登半島地震」です。幸い被害をまぬがれた私たちは、改めて防災、減災について考える時間を得たと思います。自分・家族は「何ができるのか」、「何をしたらいいか」、今日の大会を通じて学習し、体験し、それらを家族で話し合ってみよう。そして出来ることを「家族で共有」しましょう。

豊治学区・坂野修

ご家庭の
目立つ所に
掲示して
ください

これだけは実行しましょう！

防災・減災4つのキホンのキ

水害対策

家族にとって安全な場所はどこか？
複数の選択肢を用意しておきましょう

「ハザードマップ」で自宅付近の想定浸水深を確認してください。比較的危険性が低い地域なら自宅2階や住んでいる建物の上のフロアへの「垂直避難」も選択肢の一つ。自宅避難に不安があれば、あらかじめ親戚・知人宅や宿泊施設、避難所など複数の避難先を想定しておきましょう。大雨や台風は、ある程度予測できます。「逃げ遅れ」にならないように、テレビ・ラジオ・インターネットなどから最新情報を入手して、的確な避難行動を！

震災対策

緊急地震速報が出たら
速やかに身の安全の確保を！

屋内で大きな揺れを感じたら机などの下に入って頭を守り、揺れがおさまるのを待って、落ち着いて火の元の確認を。屋外にいる時は建物や電柱など倒れてくるものから離れ、カバンなどで頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。とにかく慌てないこと！

地震は突然やってきます。日ごろから「自宅の耐震化」「家具類の固定」「防災備蓄品や非常用持ち出し袋の用意」など、できることからいざという時のための準備をしましょう。

防災備蓄

食料ストックは家族の人数×1週間分
飲み水は一人一日3Lが目安

災害が発生すると水や食料が手に入りにくくなります。人の健康に必要なビタミン・ミネラル・食物繊維・タンパク質が摂取できる缶詰やレトルト食品、スープや野菜ジュース、お菓子などと飲み水の備蓄をできれば1週間分。水も食料も期限切れに近いものから普段の食事を使って、食べた分を新たに補充していきましょう。大震災では下水道も分断されます。食事とトイレは一体の問題。「流せない」事態に備えて携帯トイレなどの準備も必須です！

家族会議

災害報道を他人事にしないで！
自分と家族が被災したらと想像して家族会議を

災害はいつやってくるかわかりません。「今日かもしれない」と想像して、自分と家族の安心・安全のための備えを是非、家庭で話し合ってください。

「家具止めはできてる？」「必要な薬や生活必需品のストックは？」「電気が止まったら？」「外出中に被災したら連絡はどうする？」など、気がついた不安があれば備えを実行して解消を！

ちなみに家族の安否確認にはダイヤル「171」（利用方法を事前に調べておく）やLINE・XなどのSNSが有効です。